日本語学べる体制を

外国人材@奈良

講師はボランティア頼り

県 支援センターなど拡充

4月から始まる外国人労働者の受け入れ拡大に向け、共生に欠かせない日本語教育。県内の日本語教室は14団体が主宰しており、講師はほとんどボランティアに頼っている。各市町村の外国人向け生活相談の体制もまだ十分ではない。現場からは早急な体制整備を求める声が上がっている。（辰巳隆博）

「かばんをお持ちしましょうか？」。紙に書いたイラストを示しながら、男性講師が受講する外国人3人に日本語でゆっくり呼び掛けた。身ぶり手ぶりを交え、講師が何度も繰り返すと、理解できた表情に変わった。

公益社団法人・まちづくり国際交流センターが主宰する日本語教室。橿原市内で週3回開き、アジアを中心に11の国と地域の計約80人が日本語を学ぶ。講師も外国人も共通語となる英語は使用禁止で、能力別に学んでいる。参加する外国人は知人の紹介やインターネットを見て訪れるという。

ベトナム出身で昨年7月に技能実習生として来日し、橿原市内のプラスチック加工工場で働くゴ・ドゥク・ロックさん(31)は「全く話せなかったが、今は同僚とあいさつなどの簡単な会話ができるようになった」と週2回通う成果を強調する。

ボランティアの男性（手前）から日本語を学ぶ外国人ら（橿原市で）

一方、講師22人は会社員や定年を迎えた人ら全員ボランティアだ。1対1の授業から、1人で30人を指導することもある。

同センターによると、教室は賃金や待遇の面で外国人同士の情報交換の場にもなっており、企業側は参加に積極的でない場合もあるという。市町村は全ての言語に対応する職員を常駐させるには財政負担が大きく、案内窓口の設置は難しいとみられる。

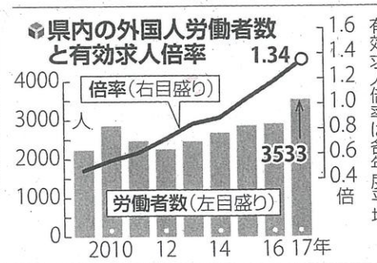
センター理事長の吉田浩巳さん(57)は「来日した外国人にとって、最初どこに頼ればいいのかわからないはず。日本人との共生のため、国には1人でも多くの人に学んでもらえるような体制づくりをしてほしい」と指摘する。

外国人との共生策を盛り込んだ政府の「総合的対応策」には、在留手続きや医療、福祉などの情報提供にあたる生活相談窓口を全国100か所に設置することが挙げられた。

しかし、多言語で生活相談に応じる機関は、県内で奈良市の県外国人支援センターのみ。県国際課は同センターの出先機関の設置や業務の拡充、各市町村との連携、国際交流団体との協力を検討する。

奈良労働局によると、県内の外国人労働者は増加傾向で、2017年10月末現在、827事業所で計35333人。実習生の多くが中小企業で働いている。

県雇用政策課の担当者は「実習生の労働上のトラブルは全て国が把握し、県には情報が下りてこないのと同様に、国が相談窓口を設けても、どのように自治体と連携していくのか、今後の取り組みが見えない」とより密接な情報共有の必要性を訴えた。



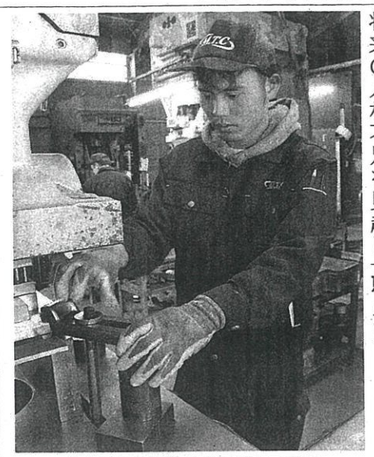
外国人労働者数は各年10月末、有効求人倍率は各年度平均

☺追真のカットをお手元に
新聞掲載写真
▼申し込みは大阪読売サービス　平日9時30分～17時30分
☎06-7732-1182

「企業の負担軽減図って」

ユニットバスや自動車の部品製造などを手がける金属加工業「M.T.C」（大和高田市）は日本人従業員26人が働くほか、ベトナム人実習生5人を受け入れている。加盟する中央技術交流協同組合（王寺町）でも将来の人材不足を見越して、ミャンマーやベトナム、中国出身の計146人の実習生が、加盟24社で働いている。

来年の東京五輪や2025年には大阪万博の開催が決まり、建設需要の高まりから、業界は人手不足の状態という。



「少しでも長く働ける環境を整備してほしい」と話すドアンさん（大和高田市で）

森久次社長(56)は「ここ数年、求人募集をしても日本人の応募がない。外国人労働者受け入れ拡大につながる法改正は正直ありがたい」とする。その上で「製造業は技術の習得に数年かかるので長期雇用につなげたい。受け入れ外国人に対しては、日本語や生活マナーを教育する公的な仕組み整備など、企業の負担軽減を図ってほしい」と要望する。

来日2年目のベトナム人実習生レー・アイン・ドアンさん(23)は「日本は賃金が高く、家族は仕送りを感謝してくれている。仕事にも慣れ、将来的には帰化も考えている。長く働ける制度設計をお願いしたい」と話した。

県内初 介護技能実習生

奈良、大阪、京都の3府県で医療介護事業を展開する「ウェルグループ」（大和郡山市）が運営する協同組合ウェル国際技能協力センターは県内で初めて、介護の技能実習生としてベトナム人16人を23日から受け入れる。語学力と介護の倫理、基礎を学んだ上、3月から現場で働き始める。

技能実習制度の対象職種に2017年11月、介護分野が追加された。16人は今月21日に来日し、23日に大阪市内で入校式に臨む。約2か月間、日本語や介護の講習を受け、大和郡山市内の老人ホームやグループホームなどに配属される。今後、ベトナムや中国から毎月10～20人を受け入れていくという。

深刻な人手不足に悩む介護業界では、外国人技能実習生への期待は大きい。実習生は最長5年働けるが、4月から施行される改正入管難民法で、実習生として3年以上の経験を積めば、特定技能の在留資格1号を得ることが可能で、さらに5年間、日本で働ける。

同社受け入れ担当の杉田珠希さん(47)は「実習生に長く働いてもらいたい。職場の人間関係の悩みを聞くなど、きめ細かな支援もしっかりしていきたい」としている。

8歳長男暴行

自宅で長男（当時8歳）を殴って死なせたとして、傷害致死罪に問われた父親で歯科技工士岡田剛被告(36)の裁判員裁判の初公判が18日、地裁（西川篤志裁判長）であった。岡田被告は「間違いありません」と起訴事実を認めた。

起訴状などでは、岡田被告は昨年9月17日夜、生駒市の自宅1階で、長男・勇心君の左側頭部付近を右手で1回殴り、左側頭部の骨を折るけがを負わせ、翌朝に左硬膜外血腫で死亡させたとしている。

検察側は冒頭陳述で、自宅で飼っていたウサギについて、勇心君が、ケージの外に出さないという約束を破った。被告が問いただしたところ、「出していない」とうそをついたため、殴ったと事件の経緯を述べた。

一方、弁護側は、被告は長男がうそをついた場合、

ニュース&

3高校生 強盗傷害容疑

奈良市内の民家で物色中、追いかけてきた家人にけがを負わせたとして、奈良西署などは18日、大阪府寝屋川市に住む高校3年の男子生徒3人（いずれも18歳）を強盗傷害などの容疑で逮捕した。3人は中学時代の友人で「遊ぶ金が欲しかった」と容疑を認めているという。

発表では、3人は共謀して昨年12月17日午後5時40分頃、奈良市千代ヶ丘のアルバイト従業員男性(38)方に侵入。1人が2階の和室を物色していたところ、男性に気づかれて逃走。玄関先でもみ合って引き倒し、男

奈良

奈良支局
〒630-8001 奈良市法華寺町141-1
☎(代)0742-34-1101 FAX 34-1103
橿原支局
〒634-0063 橿原市久米町652-2
橿原市商工経済会館2F
☎0744-28-6388 FAX 28-6399
大和高田通信部 ☎0745-78-5080
桜井通信部 ☎0744-46-3520
五條通信部 ☎0747-52-7611
大和郡山通信部 ☎0743-55-5605
生駒通信部 ☎0743-71-0180
ホームページ
www.yomiuri.co.jp/local/nara/
広告のご用は ☎0742-33-5487
読売旅行は ☎0742-26-5555
折込広告は ☎0743-59-0930

「カラダ」を思えば
栄養補助食品
JHFA (財)日本健康・栄養食品協会認定
高濃度
プロポリス
三徳株式会社
三徳 蜂 で 検索
0120-041328